

# 令和2年度 事業報告

## I 事業概要

少子高齢化の進展により、長野県の高齢化率は32.1%（令和2年4月現在）となり、全国を上回る水準で高齢化が進んでいます。生産年齢人口の減少と併せ高齢化の急激な進展が、地域社会や産業の担い手不足に繋がり、地域活力の低下を招くことが懸念されています。

このような状況の中で今後も地域の活力を維持し、人生100年時代を見据えた多様な生き方を可能とするためには、高齢者が地域の担い手として年齢に関わりなく活躍し続けることができる社会づくりの促進が不可欠となっています。

このような中、国では主要政策プランに高齢者の就業促進を掲げ、高齢者に個々の意欲・能力に応じ、「支えられる側」から「社会の支え手」としての活躍を期待しています。

平成27年度から実施しているシルバー派遣事業は6年目を迎え、契約額も年を追うごとに増えています。従前の請負業務を見直し、派遣に移行するなどした結果、令和2年度においては対前年比28%増の4,178万円の実績となりました。

また、従来からの請負による業務においては、派遣に移行する業務に加えて、新型コロナウイルス感染症の流行による受注減などの影響もあり、前年度を大幅に下回る結果になりました。会員数が伸び悩む一方で会員の就業ニーズの多様化等により、発注依頼があってもそれに十分応えられない状況も発生しています。様々な発注に応えるためには会員の拡大が重要と考えます。

平成28年度から取り組みを始めた高齢者活用・現役世代雇用サポート事業は、この事業の趣旨である人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、引き続き派遣コーディネーターを配置し、就業機会の拡大に努めました。

また、高齢者活躍人材確保育成事業では、長野県シルバー人材センター連合会の協力を得て「大切な庭木の手入れ講習」「お掃除の仕方とさわやか健康体操」「障子貼り」の3つの講座・セミナーを開催し、センターのPRと会員の増加に努めました。

このような中で、今年度の請負と派遣を合わせた契約総額は1億9342万円となり、前年度を下回る結果にはなりましたが、新型コロナウイルス感染症が地域経済に大きな影を落としている中で落ち込みを最小限に抑えられたことは会員各位の地道な日々の就業の積み重ねの結果であり、また発注者の皆様や市・村を始め国・県のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後さらに、会員の就業マナーや資質の向上を図るとともに、より一層信頼されるシルバー人材センターとなるよう役員及び会員が一丸となって事業の推進に取り組んでいきたいと考えています。

## II 事業実施報告

### 1. 就業機会提供事業

#### (1) 受託事業

令和2年度は、剪定、大工等の営繕、草刈り、農作業、雪下ろし作業などの単発的な業務が若干増えましたが、請負から派遣への移行や、新型コロナの影響による観光関連の受注が減ったことなどもあり、全体としては前年度に比べ減となりました。

#### (2) 労働者派遣事業

平成27年度から開始し6年目を迎えたシルバー派遣事業は、従前からの受注に加え、請負業務の見直しによる派遣業務への移行により前年度に比べ増となりました。

#### (3) 独自事業

##### ① 正月飾り製作販売

しめ縄づくり・販売事業では、5名の会員にて、しめ縄280本、門松150対を製作販売しました。

製作する会員の高齢化や退会等により後継者の確保が課題となっていることから、しめ縄づくり講習会を開催し11名の参加がありました。今後も講習会を継続し後継者育成につなげていくとともに、職群班として活動ができるよう組織の充実を図っていきたいと考えています。

##### ② アンテナショップ「シルバーしろかね」での販売

「シルバーしろかね」は旧飯山駅観光案内所に設け、4月から11月までの間、会員が交代で店番を務め、定休日なしでの営業を目指しました。しかしながら新型コロナ感染症予防の観点から4月中旬から約1カ月半を休業としましたが、最終的な売上額は過去最高となりました。

令和元年度から「観光案内業務」を飯山市から委託され、飯山商工会議所から委託されている「七福の鐘」の管理とあわせ、飯山の観光案内に一役買うことができました。

#### (4) 指定管理事業

引き続き、飯山市屋内運動場の指定管理事業を受託しました。

### 2. 就業機会確保・雇用サポート事業

#### (1) 安全・適正就業事業の推進

① 安全・適正就業対策推進の重点目標を「危険ゼロ」と定め、具体的取組みとして、「安全ミーティングの完全実施」、「安全装備使用の徹底」、「健康診断受診及び健康体操の奨励」、「交通事故防止」を掲げ取り組みを行いました。

除草、剪定、冬囲い作業の現場で安全パトロールを実施し、安全ミーティングの推進、会員の事故防止に努めました。

② 安全・適性就業に係る標語の募集では当センター会員から4点の応募がありました。

③ 例年開催される長野県シルバー人材センター連合会主催「安全・適正就業推進大会」は新型コロナ感染症予防の観点から開催が見送られました。

④ 事故発生状況

今年度は、傷害事故が8件、損害賠償事故が7件、交通事故が7件発生しました。例年に比べて発生件数が著しく多い結果となり、会員には事故防止に向けての意識を高く持っていただくことが必要です。

**【事故発生内容】**

区 分	件数	内 容
傷害事故	8	請負就業でケガ（保険対象）4件 蜂刺され（保険対象）1件 派遣先でケガ（派遣先保険対応）2件 熱中症（見舞金対象）1件
賠償責任事故	7	運転業務での物損事故（派遣先事業所負担）5件 草刈り作業中に通信ケーブルを破損 1件 雪下ろし作業中に窓ガラスを破損 1件
交通事故（物損）	7	自損事故（派遣先事業所負担）7件

- ⑤ 中野自動車学校に安全運転適性講習会を委託し、座学・実技による法令遵守、運転評価、検査機による運転適性検査等について、運転業務に就業している会員19名が受講しました。
- ⑥ 適正就業検討委員会を開催し、ローテーション就業の取り組み等、会員の適正就業を推進しました。
- ⑦ 会員向け情報紙「かわら版」で、事故防止等の注意喚起を行いました。

**（2）普及啓発事業の推進**

- ① 例年開催されるシルバー祭り及び木島平村民祭は新型コロナの影響で中止となりましたが、シルバーしろかねにおいて、宣伝チラシや啓発用品を配布し、普及啓発に努めました。
- ② 会報「シルバー飯山地域」第27号を発行し飯山市・木島平村の広報誌とともに全戸配付しました。
- ③ 会員募集チラシの新聞折り込み、北信濃新聞、飯山市・木島平村の広報誌に会員募集の広告を掲載して会員拡大に努めました。
- ④ シルバー人材センターを地域の皆様に広く知っていただくため、各地域において除草や清掃作業などボランティア活動を実施しました。

**【ボランティア活動実施状況】**

ボランティア実施場所	作業内容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
飯山市屋内運動場（7月）	除草	46人	34人	雨天中止
飯山市屋内運動場（9月）	除草	雨天中止	37人	33人
各地区活性化センター	除草、清掃	57人	76人	61人
木島平村社協（7月）	除草	27人	24人	29人
合 計		130人	123人	171人

**（3）就業開拓提供事業**

- ① 9月から10月において、官公庁・民間事業所等を訪問し、シルバー人材センター事業の理解を得るとともに、就業機会の確保と新規受注開拓に努めました。
- ② 入会説明会を毎月第二水曜日に開催しました。7月と3月は木島平村においても開催し会員拡大に努めました。
- ③ 4つの職群班においては、会員のスキルアップと後継者育成に努めながら、併

せて就業開拓も進めました。例開催している研修会は新型コロナ感染症予防の観点から中止としました。

**【各職群班実績・研修会】**

班名	受注件数	延べ日人員	契約金額	研修会
観光ガイド班	29件	51人	100千円	新型コロナ感染症予防の観点から中止
庭木整姿班	322件	873人	7,685千円	〃
冬囲い班	381件	1,199人	6,406千円	〃
除雪班	195件	803人	3,603千円	

**(4) 会員研修会の開催**

「マナー研修会」については、新型コロナ感染症予防の観点から開催を見送りました。

**(5) 調査研究事業の推進**

理事・監事の役員で、福島県喜多方市シルバー人材センターの視察を予定していましたが、新型コロナ感染症予防の観点から実施を見送りました。

**(6) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業**

人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、派遣コーディネーターを配置し、請負・委任になじまない就労を派遣事業への切り替えを進め、さらに就業の機会を拡大するための取り組みを行いました。

**3. 高齢者活躍人材確保育成事業**

県シルバー人材センター連合会の協力を得て高齢者活躍人材確保育成事業を3講座開催し、センターのPRと会員増加に努めました。

7月「大切な庭木の手入れ講習」	14名受講
8月「お掃除の仕方とさわやか健康体操」	15名受講
9月「障子貼り」	5名受講

**4. 組織運営体制と財政基盤の強化**

(1) 理事会は12回開催しました。

**【理事会開催状況】**

期日	議事事項・主な協議事項
第1回 4月28日	正会員の入会承認について 令和元年度事業報告及び収支決算報告の承認について 理事、監事の選出について 令和2年度定時総会について
第2回 5月29日	正会員の入会承認について 定時総会の運営について
第3回 5月29日	理事長、副理事長、専務理事の選定について 専門部会並びに安全委員会委員の選任について
第4回 6月17日	正会員の入会承認について 各部会の年間計画について ボランティア活動について

第5回 7月28日	正会員の入会承認について 市・村への要請活動について 設立30周年記念事業実行委員会の設置について 高齢者活躍人材確保育成事業について
第6回 8月20日	正会員の入会承認について 事業所訪問について 地域班会議の実施について
第7回 9月24日	正会員の入会承認について 設立30周年記念事業実行委員会組織について 地域班会議の実施について
第8回 10月22日	正会員の入会承認について 執行理事の職務執行状況について 事業所訪問の結果について 地域班会議の実施状況について
第9回 11月24日	正会員の入会承認について 会計関係書類の処分について 令和3年度受注単価見積基準について
第10回 12月21日	正会員の入会承認について 令和3年度定時総会について 会員拡大推進月間について 地域班会議の開催結果について シルバーしろかねの運営実績について
第11回 2月18日	正会員の入会承認について 各部会の令和2年度事業報告・令和3年度事業計画について 令和3年度年間計画について 会員の適正就業に関する要綱の推進について
第12回 3月25日	正会員の入会承認について 定款の一部改正について 令和2年度収支補正予算について 令和3年度事業計画及び収支予算について アンテナショップ運営委員の選任について

- (2) 自治体からの運営費補助の限度額確保のため、飯山市、木島平村への支援要請を8月27日に行いました。
- (3) 連絡員会議を6月に開催しました。地域班会議は10月～11月に10地区で開催し、148名の出席がありました。会員、役員、事務局との情報交換を行い、会員のシルバー人材センター事業への意識高揚に努めるとともに、会員の意見や要望を事業運営に反映させることに努めました。
- (4) 設立30周年記念事業実行委員会を組織し、式典部会及び記念誌部会を開催する中で事業内容等を協議しました。
- (5) 会員による「1人1会員入会運動」を推進し、今年度入会された会員（37名）のうち7名が会員の紹介によるものでした。
- (6) 会員相互の親睦を深めるため、会員互助会への支援を行いました。